

紀 要 委 員 会

委員長 花岡眞佐子

委 員 薄井 明 唐津 ふさ

桑原 ゆみ 近藤 里美

櫻井 潤 佐々木明員

編 集 後 記

「看護福祉学部紀要」第19号をお届けいたします。論文3編、総説3編、研究報告4編と、例年に比べてコンパクトな紀要になりました。ともあれ、ご多忙中にもかかわらず、原稿をお寄せくださいました皆さんの熱意と努力に対して、心から敬意と感謝を申し上げます。

今年の冬は例年にない大雪で、交通障害に悩まされましたが、春から夏に向けて天候もよく、作物も豊作でひと安心いたしました。そして秋には、あらゆる細胞に分化する能力があるiPS細胞（人工多機能性幹細胞）を開発した山中伸弥教授（京都大学）に、ノーベル生理学・医学賞の授与が決定し、12月10日にストックホルムで授賞式が行われました。受賞式に向けて、彼は「予想外の結果がiPS細胞をもたらしてくれた。若い人たちに予想外のことがチャンスになるというメッセージを伝えたい」と。私たちも教育や研究活動を通して、後輩たちに学問を追究することの面白さを伝えたいと思います。

また、平成25年度から北海道医療大学において、機関リポジトリ（電子アーカイブシステム）が開設する予定です。今後は、学外の方に、いつでも気軽に「看護福祉学部紀要」を活用していただけます。次年度は「看護福祉学部紀要」も第20号となります。みなさんの積極的な投稿をお待ちしております。

（花岡 眞佐子）